

2023年6月7日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

第6回『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』 文部科学大臣賞を受賞しました！

地域創生学群では、3年生向けに「地域創生学群チャレンジプログラム」を開講しており、このプログラムでは、「起業トライアル」と「リアル就職」という2つのプログラムで構成されています。

この度、その取り組みが評価され、第6回『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』において、文部科学大臣賞及び優秀賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

記

主催 「学生が選ぶ キャリアデザインプログラムアワード」実行委員会
(後援[順不同]: 経済産業省、厚生労働省、内閣府、文部科学省、日本経済新聞社、マイナビ)

頭彰 大賞(1団体)、文部科学大臣賞(1団体)、地方創生賞(1団体)、優秀賞(4団体)、入賞(8団体)

添付 ・「学生が選ぶ キャリアデザインプログラムアワード」実行委員会プレス資料
・「地域創生学群チャレンジプログラム」概要及び活動内容

「学生が選ぶ キャリアデザインプログラムアワード」とは

学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシップやキャリア形成支援に係る取組を表彰するアワードです。

本アワードを通じて学生の職業観涵養を促進する効果的な取組を周知することで、プログラムの質的向上および実施企業数の増加を実現し、学生と企業のより精度の高いマッチングを目指します。

[ウェブサイト]<https://internship-award.jp/about/#awards>

●この件に関するお問い合わせ先
北九州市立大学 学術振興課教務第二係
今泉、舛田 電話 093-964-4209

●大学広報全体に関するお問い合わせ先
北九州市立大学 企画戦略課広報係
石井、押領司 電話 093-964-4196



2023年5月29日

『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』実行委員会

**第6回『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』
大賞「株式会社麦の穂・椋山女学園大学」
文部科学大臣賞「北九州市立大学」に決定
～「キャリアデザインカンファレンス2023」にて発表～**

『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』実行委員会は、学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシップやキャリア形成支援に係る取組を表彰する『第6回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』を開催しました（後援：経済産業省、厚生労働省、内閣府、文部科学省、日本経済新聞社、マイナビ）。5月24日（水）に開催された「キャリアデザインカンファレンス2023」にて、大賞および文部科学大臣賞を発表しました。

※ 2018年（第1回開催）から実施している「学生が選ぶインターンシップアワード」は、今回の第6回開催より「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」に名称変更しました。

応募総数694法人・770プログラムのなかから、学生アンケートや学生選考会、選考委員会などの審査を経て、株式会社麦の穂・椋山女学園大学「産学連携による『キャリアデザインスキル習得プログラム』とキャリア形成のための『リアルな職場体験』」が大賞を受賞。また、産学連携の取り組みを表彰する「文部科学大臣賞」には、北九州市立大学「地域創生学群チャレンジプログラム」が選ばれました。



写真上：「キャリアデザインカンファレンス2023」受賞法人

写真左下：株式会社麦の穂・椋山女学園大学（大賞）、写真右下：北九州市立大学（文部科学大臣賞）

「キャリアデザインカンファレンス2023」では、近年キャリアを考える上で重要な存在となった「インターンシップやキャリア形成支援」をより深く考える場として、受賞法人のプレゼンテーションや、多摩大学経営情報学部・初見康行 准教授による講演などを実施。インターンシップやキャリア形成支援に係る取組の社会的価値を向上するため、教育的効果の高いインターンシップや、学生視点のプログラムの捉え方を発表しました。



＜大賞＞
株式会社麦の穂・椋山女学園大学
「産学連携による『キャリアデザインスキル習得プログラム』と
キャリア形成のための『リアルな職場体験』」



Sugiyama

株式会社麦の穂・椋山女学園大学 受賞コメント

このような栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。受賞が目的ではありませんが、『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』を目指すことで、全部署が一つのチームとなり、取り組むことができました。

「日本で一番人が育つ会社」を目指す株式会社麦の穂と「トータルライフデザイン教育」を掲げる椋山女学園大学が「産学連携」し、それも単なる連携ではなく企業と大学が足並みを揃え、参加してくれる学生のことを考え抜いて実行できたことが今回の結果に繋がったと思います。チームメンバーはもちろんのこと、関係者・参加学生の皆様に心から感謝致します。これからもより良いプログラムを探求し、学生の皆様とともに、「なりたい自分になるための自律的キャリア開発」を促進していきたいと思ひます。

＜文部科学大臣賞＞
北九州市立大学
「地域創生学群チャレンジプログラム」



北九州市立大学
地域創生学群
REGIONAL DEVELOPMENT

北九州市立大学 受賞コメント

この度は、文部科学大臣賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。発表の瞬間は驚きましたが、これまでのことを思い出して、ウルツとききました。「地域創生学群チャレンジプログラム」は、学生たちの更なる成長の機会を提供するため、選ばれる大学・学部であり続けるためにはじめたプログラムです。おかげさまでこれまで8年間、地道に続けることができているのですが、そもそも思い切って挑戦してくれる学生の皆さんがいなければ、しっかりと受け入れてくださる企業様やサポートして下さる皆様の存在がなければ、プログラム自体が成立しなかったと思います。ですから、関わってくださったすべての皆様には、大変感謝しております。そして、このような形で公の場において評価していただいたことを大変嬉しく思ひます。

変わり続ける時代の中で、学生の皆さんには、挑戦の一步を踏み出し続けることができるようなマインドを身につけて欲しい、自分で考え行動できる人材へと成長して欲しいと願っています。

これからも、プログラムをアップデートしながら、学生の皆さんが自らの成長のために挑戦できる場であり続けられるよう、頑張っていきたいと思ひます。



《優秀賞》 ※50 音順
島根電気株式会社
テンブル大学ジャパンキャンパス

《地方創生賞》
燕市

《入賞》 ※50 音順
帯広市
株式会社カタヤマ
金沢工業大学
SOLIZE 株式会社
東邦音楽大学
株式会社ニトリホールディングス
株式会社日本総合研究所
株式会社ミルボン

【総評】 選考委員会座長・梅崎修 法政大学キャリアデザイン学部教授
※一部抜粋

今回で 6 回目の開催となった『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』ですが、応募プログラムはどれもレベルの高いものばかりでした。本日みなさまのプレゼンテーションを聞き、その内容に感動すると共に改めて素晴らしいプログラムを選出することができたと感じました。

その中でも今回は「連携」を上手く活用できているプログラムが多かったことが特徴と言えます。「連携」とは企業と大学はもちろんですが、例えば行政や NPO 等と連携して取り組めたものは、その重なりから、参加したいと学生に思わせる魅力的なプログラムになっていると感じます。

改めてプログラムを作成し、実行する人材が大事になってくる、より専門性が必要になっていくのではないかと実感しています。専門性とは単にキャリア教育に詳しいということだけではなく、企業にも詳しい、大学にも詳しい、もしくは行政に詳しいというように多くの領域に詳しいということです。また、連携に必要な交渉力を持つこと、アウトプットをわかりやすく表現すること、そのような複合的な能力を持つということです。なかなか難しいことですが、社会としてそのような人材を育成していくということがより重要になっていくかと思えますし、このキャリアデザインプログラムアワードがそのために必要なネットワークの結び目になっていけば、その役割をもっと大きく

できるのではないかと感じています。



「キャリアデザインカンファレンス 2023」の様子は、
HP でアーカイブを公開しています。

URL : <https://internship-award.jp/>



【学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード】

学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシップやキャリア形成支援に係る取組を表彰するアワードです。本アワードを通じて学生の職業観涵養を促進する効果的な取組を周知することで、プログラムの質的向上および実施企業数の増加を実現し、学生と企業のより精度の高いマッチングを目指します。

2022年6月13日に文部科学省・厚生労働省・経済産業省により「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」が示されました。本アワードはこの考え方に則り、名称を「学生が選ぶインターンシップアワード」から「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」に変更しています。

「キャリアデザインプログラム」という言葉は、新たに定義されたタイプ3、タイプ4の「インターンシップ」に限らず、それ以外のキャリア形成支援に係る取組を総称する言葉として設定しました。

本アワードにおいては新定義の「インターンシップ」プログラムに限らず、その他キャリア形成支援に係る取組も含め、真に学生にとって有益なプログラムの形を模索し、発信してまいります。

<主催>

『学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード』実行委員会

<後援>

経済産業省、厚生労働省、内閣府、文部科学省、日本経済新聞社、マイナビ（順不同）

<選考フロー>

企業・大学・団体から応募されたプログラムについて、参加学生のアンケート調査などをもとに学生選考会による審査、有識者部会による審査を経て受賞法人を決定

<お問い合わせ先>

「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」運営事務局

MAIL : job-internship-award@mynavi.jp URL : <https://internship-award.jp/>

TEL : 03-6267-4531（受付時間：平日 10:00 - 17:00）

2015



2016



2017



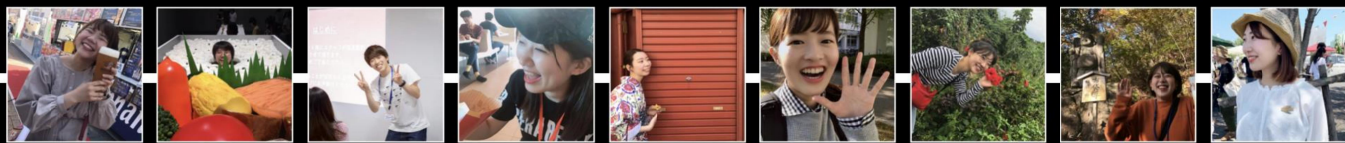
地域創生学群チャレンジプログラム

～挑戦の先にある挫折や失敗、それを乗り越えた経験こそ宝～

2018



2019



2020



→2021→2022→2023 . . .

What's CHALLENGE PROGRAM?

【3年生向けの超実践的なプログラム】

【Webサイトや紹介冊子等でPR】

※このプログラムを目指して志願する高校生少しずつ増加

【2022年度までの8年間で合計79名の学生が挑戦】

※起業トライアル25名、リアル就職54名

【インターンシップの受入先企業様は計32社】

※北九州市内15社、北九州市外17社

<起業トライアルプログラム>

→自ら考えた事業を長期間にわたって実施するというプログラム

実施期間の目安は5月～1月の **9ヶ月間**

<リアル就職プログラム>

→受入企業等で週3-4日のフルタイムインターンシップを行うプログラム

実施期間の目安は9月～1月の **5ヶ月間**



What's CHALLENGE PROGRAM?

【3年生向けの超実践的なプログラム】

【Webサイトや紹介冊子等でPR】

※このプログラムを目指して志願する高校生少しずつ増加
【2022年度までの8年間で合計79名の学生が挑戦】

※起業トライアル25名、リアル就職54名
【インターンシップの受入先企業様は計32社】

※北九州市内15社、北九州市外17社

<起業トライアルプログラム>

→自ら考えた事業を長期間にわたって実施するというプログラム

実施期間の目安は5月～1月の**9ヶ月間**

3つの特徴

- 01 オウンリスク**
場所を借りることも、材料を買うこともこのチャレンジの歩目は全て、身銭を切ることからはじまります。だからこそ、本当にお金を稼ぐこと、働く意味を学びます。
- 02 原則、お膳立てゼロ**
どこで行うか?場所の交渉も、自分たちで行います。知り合いから人脈をたどったり、交渉をするなど環境も自分たちで築いていきます。
- 03 すべてが自由な分、自分がやっただけしか、結果がついてこない**
どのような事業を行うか、全て自由。制約なし。できるか、できないかも全て自分次第。事業計画をつくり、応援してくれる仲間をつくり、行動に行動を重ねる。これを一定期間、事業継続させるからこそ、自分の実力を知り、困力と自力が身に付きます。

<リアル就職プログラム>

→受入企業等で週3-4日のフルタイムインターンシップを行うプログラム

実施期間の目安は9月～1月の**5ヶ月間**

3つの特徴

- 01 たった1人!**
実質にはチームメンバーもいますが、たった1人でバババ働く社会人と肩を並べて仕事(プロジェクト遂行)をします。
- 02 定期的に振り返り研修を実施!**
各企業に向向しているチャレプロ生で定期的に集まり、専門の研修講師による振り返りを行います。体験を振り返り、学びや成長を認識したり、自身の課題を発見する場でもあります。同期同士で、フィードバックを行うなど、高めあう場もあります。
- 03 自分軸!**
働いたことがないのに、自分にとってどう働きたいか?働く上で大切にしたい事を考えることは、難しいです。一定期間働いてみて、自分の得意/不得意や、何にやりがいを感じるか?など、じっくり考え、言語化し、将来についても研修で考えていきます。

チャレプロ紹介冊子より

チャレンジプログラムが育む**5**つの力

01 成功より恥をかく経験を。失敗力

上手くいかなかった時、それを認め、向き合いそこから何を学べばいいか?考え、次に進むためにまた立ち上がる力。
(学びに変える力+回復力)



02 想いを言葉に。言語化力

自分の感情や想いを言葉にする力。熟考や、客観的に捉えなおす情報整理、人に伝える根幹となる力。

03 批判より提案を。当事者創造力

目の前の出来事に対し、批判や愚痴ではなく、どうしたら良いか自ら考え、提案、行動する力。



04 上手くいかないことと向き合う。やり抜く力

上手くいかないことや、評価されないことがあったとしても、それから逃げず、最後までやり通す力。業務遂行力。



05 きちんと事を為すために。巻き込み力

手伝ってくれる人、応援してくれる人をつくる力。また、人に頼るなど自ら人へ働きかけ、関係を構築していく力。

5 forces

この5つの力を、機会/伴走/振り返り(学びの概念化)で育みます。



チャレプロ紹介冊子より